

〈6〉工事発注で施主が心得るべきこと②



施主も養生作業などを手伝ってつくり上げた、打ち出し仕上げの鉄筋コンクリート造の集合住宅



生コンの流動性を確認するためのスランプ試験。固い生コンであるほど、高い山ができ、崩れにくい



固い生コンを、ミキサー車からスコップを使って荷下ろしする。固い生コンの打設には、多くの作業員が必要になる



コンクリート工事前に行う勉強会の様子。施主を含め、できるだけ多くの工事関係者に参加してもらい、目標を共有することも、各作業の要点や注意点について周知徹底する

わかる！ コンクリート

現場の厳しい状況理解を 施主は勉強会を通して情報交換

当連載では、ひび割れのないコンクリートのつくり方を指導する専門家・岩瀬丈夫氏が、コンクリートの基礎知識を分かりやすく紹介する。前回に引き続き、強固なコンクリートの工法で建築を発注するに当たって、施主が心得るべき点について解説してもらった。

手間と費用は不可欠

現在のコンクリート工事において適正な作業を目にする事は、ほとんどありません。適正な作業を行うだけの予算と工期がないのも確かですが、「安く」「早く」という合理性の追求が行き過ぎ、知らないうちに、丁寧さの失われた作

業が普通になってしまったからです。密度が高く、丈夫で長持ちするコンクリートを造るためには、多くの作業員による丁寧な作業が不可欠であり、その分、予算が増えます。工期に關しても、鉄筋や型枠を通常よりも丁寧かつ強固に組み上げることが必要となることから、これらの作業にかかる日数は長くなります。また型枠の解体後に、セメントの水和結晶の成長を促すための養生を行なうことでも、工期は延びます。

一方、耐久的なコンクリートを実現するため、水の少ない共につくり上げる姿勢

の追求が行き過ぎ、知らないうちに、丁寧さの失われた作業が普通になってしまったからです。密度が高く、丈夫で長持ちするコンクリートを造るためには、多くの作業員による丁寧な作業が不可欠であり、その分、予算が増えます。工期に關しても、鉄筋や型枠を通常よりも丁寧かつ強固に組み上げることが必要となることから、これらの作業にかかる日数は長くなります。また型枠の解体後に、セメントの水和結晶の成長を促すための養生を行なうことでも、工期は延びます。

一方、耐久的なコンクリートを実現するため、水の少ない共につくり上げる姿勢

の追求が行き過ぎ、知らないうちに、丁寧さの失われた作業が普通になってしまったからです。密度が高く、丈夫で長持ちするコンクリートを造るためには、多くの作業員による丁寧な作業が不可欠であり、その分、予算が増えます。工期に關しても、鉄筋や型枠を通常よりも丁寧かつ強固に組み上げることが必要となることから、これらの作業にかかる日数は長くなります。また型枠の解体後に、セメントの水和結晶の成長を促すための養生を行なうことでも、工期は延びます。

【いわせ ふみお】1947年生まれ。コンクリート主任技士。「コンクリートのひび割れは、正しいつくり方の実践で解消する」という持論の下、全国各地で講習会を開催。主な著書に「ひび割れのないコンクリートのつくり方(日経BP社)」など。株式会社コンクリートサービス <http://www.sc-con.com>

毎月第2全曜日に掲載